

2023 人事院勧告 すべての職員の本俸引上げ、一時金0.1月引上げ 魅力ある公務へ、組合で声をあげ、さらに改善を

■ 8月7日、人事院は国会と内閣に対し、官民較差0.96%・3,869円にもとづき国家公務員の本俸（月例給）すべての号給の引上げ、一時金（ボーナス）支給月数を0.10月引き上げる「勧告」を行いました。

◎初任給引上げ…高卒12,000円・大卒11,000円 ◎全職員平均…月収2.7%・年収3.3%改善

1. 「給与勧告」のポイント（抜粋要約）

- 1) 本俸…初任給を始め若年層に重点を置き給料表全体（すべての号給）引上げ
高卒初任給を約8%・12,000円、大卒初任給を約6%・11,000円引上げ
〔実施時期〕2023（R5）年4月1日に遡って適用
- 2) 一時金…0.10月分引上げ→年間4.50月分に改定し、期末手当・勤勉手当に配分
〔実施時期〕法律の公布日（12月1日までに自治体の条例が改定されれば下記が適用）
〔今年度〕12月の期末手当+0.05月・勤勉手当が+0.05月
〔来年度～〕6月と12月の期末手当と勤勉手当がそれぞれ+0.025月
- 3) 在宅勤務手当…テレワーク中心の働き方の職員の高熱水道費等負担軽減のため
月額3,000円支給〔新設〕（支給される職員は通勤手当に所要の措置→減額）〔実施時期〕2024（R6）年4月1日
- 4) 非常勤職員の給与…今年4月非常勤職員給与を常勤職員給与改定に準じて改定する「人事院指針」発出
→この「指針」の内容に沿った適切な給与改定が行われるよう各府省を指導する。



2. 「勤務時間に関する勧告」のポイント（抜粋要約）

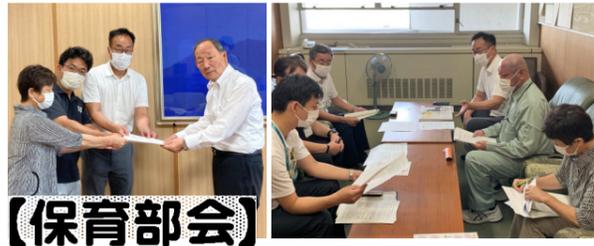
- 《選択的週休3日制》フレックスタイム制の活用により、勤務時間の総量を維持した上で、週1日を限度に「勤務時間を割り振らない日＝ゼロ割振り日」を設定可能とする。〔実施時期〕2025（R7）年4月1日
- 《夏季休暇》休暇の使用可能期間（7月～9月）が業務繁忙期にあたり、休暇使用が困難な状況が一部に生じているため、期間を前後各1カ月拡大（6月～10月）する。〔実施時期〕2024（R6）年1月1日
- 《勤務間のインターバル確保》国家公務員についても、勤務間のインターバル確保の取り組みを早急に推進する必要がある、人事院規則に新たな努力義務規定を設け、2024（R6）年4月の施行をめざす。

物価高騰を上回る生活改善の賃上げを
今年の人事院勧告は、私たちの運動の結果を反映し、すべての職員の俸給表の引き上げ、期末・勤勉手当も引き上げました。しかし、民間の初任給とは依然として大きな格差もあり、物価高騰に及ばない改定率で、生活改善に至っていません。勤労手当の成績率の上限2倍に引き上げ言及など、成績主義の強化も狙われています。

非常勤職員の給与改定では、常勤職員同様の取扱いを基本とし各府省を指導するとしました。自治体でも4割にのぼる会計年度任用職員の一時金支給、賃金の遡及改定が求められます。

自治労連は、公務・公共の役割を發揮して奮闘する公務労働者に報い、疲弊する地域経済を回復するため、生計費原則に基づく大幅な賃上げ、処遇改善を求めていきます。

さらに「過労死ライン」を超える長時間労働を解消し、住民と職員のいのちと健康を守るために、大幅な体制強化、会計年度任用職員の雇用の安定と処遇改善を強く要求していきます。



【保育部会】

要求活動、職場づくり、仲間づくり さらに発展させ、次につなげよう!

自治体担当課と懇談。「配置基準見直し意見書」採択求め議長へ要請

県本部保育部会は7月31日～8月7日にかけて、自治体担当課要請・懇談と議長要請を実施。担当課では「自治体への事前アンケート結果表」と「子どもたちにもう一人保育士を」の県内アンケート結果」を持参し、「子どもたちの安全安心のために、自治体の責任で子育て支援関連の拡充」について要請。各議会では「保育士配置基準の改

善および保育士の処遇改善を求める意見書」の提出を求める請願・陳情にとりくみ、県議会の「幼児教育及び保育へのさらなる支援の拡充を求める意見書（今年2月採択）」も紹介し、各自自治体議会との懇談を依頼しました。西予市では保育士から「国の保育士配置基準どおりだと、きめ細やかな子どもたちとの関わりができない。現在は

子どもが少ないため、以前よりもいい保育ができていない」と現場状況を発言。保育士の確保では「慢性的な保育士不足で常に求人を出している状況。配置基準の見直しでさらに保育士不足におちいる可能性もある。処遇改善もあわせてほしい」と保育士になりたい人が増えないか、など当局からのコメントがありました。

県本部は7月15日、「第82回定期大会」を開催し19単組62人（十來賓・争議団5人）が参加。今年にはリアル参加を追求して開催。15人の発言・意見を聞き、全ての報告・議案を採択し新役員を選出しました。（※発言・抜粋要約）

【青年部】愛知との交流会、青年講座、反核へんなど実施。青プロに続く企画を9月に予定し、大きく成功させたい。

【宇和島病院】近隣と比部会 自治体担当者訪問・

県本部は7月15日、「第82回定期大会」を開催し19単組62人（十來賓・争議団5人）が参加。今年にはリアル参加を追求して開催。15人の発言・意見を聞き、全ての報告・議案を採択し新役員を選出しました。（※発言・抜粋要約）

【西予】長年要求してきた職員による日直業務の廃止が実現し、組合要求による職場改善を実感。

【宇和島】交渉で人員不足の職場の声を伝え、産休育休欠員への対応を要求し継続交渉中。【保育部会】自治体担当者訪問・

要請を実施し、担当課や議長と懇談し意見書採択の陳情を行う。【松山】20年近くなかった現業正規職員採用を組合提案も行い実現させたい。【西予】若年層の退職が多く、定着への要求も進める。

【東温】次世代育成休暇での改善を求めた。【今治水道】36協定を締結。協定に触れそうな事例もあり、再発防止へ協議中。

【医療介護】西予市立病院・介護施設の指定管理問題で組合は指定管理撤回を求める要求書提出し、組合員学習会を開催。この問題を地域医療を守るための全県の問題としてとらえ協力支援を。

【内子】近年はメンタルを病む若手が多く、ハラスメントアンケートも実施。要求では4月からの初任給改善、会計年度任用職員の期末手当上乗せ、高齢者部分休業制度の導入も決まった。交渉の結果が実った。【共済議員団】会計年度任用職員の加入の影響で医療費が増加傾向。収支バランス改善にもつながるので、会計年度任用職員の処遇改善要求を進めてほしい。



《県本部定期大会》



第559号

発行所
自治労連愛媛県本部
松山市三番町8丁目10-2
電話(089)931-7312
FAX(089)933-1699
jehime@sage.ocn.ne.jp
発行人 森賀 俊二
編集人 和氣 伸二
(組合員の協議料は組合費のなかに入っています)

日程

- 【8月】
 - 20 医療介護評議会幹事会（西予・web併用）・西予地域医療講演会（西予）
 - 23 県公務員共闘会議幹事会
 - 24 県自治体問題研究所理事会・研究例会
 - 26 自治労連事前会議（山口）
 - 27 自治労連定期大会（山口～29）
- 【9月】
 - 1 宇和島病院労組新入組合員歓迎会
 - 2 愛媛労連定期大会（共済会館）
 - 9 県本部拡大執行委員会・県本部労働学校（～10）
 - 16 青年部ドキジャム（今治）
 - 県医労連定期大会（内子）
 - 県民大運動学習会（共済会館）
 - 24 保育部会幹事会
 - 27 新居浜水道労組定期大会
 - 公務労組連絡会定期総会（東京）

【西条】定期大会開催。循環型活動基本に大幅賃上げ、より良い職場めざそう



西条市職労は7月26日、定期大会を開催し、約50人が参加。来賓の県本部森賀委員長が、23人勸の最新情報を報告し激励。経過報告では、この間の支所統合の影響や自治体DXの状況、人勸の賃金改定だけでは物価の上昇に追い付かず、さらなる改善が必要、保育士配置基準改善の「子どもたちにもう一人保育士を」などの活動を報告。運動方針では、人勸でのプラス勧告や最低賃金大幅引き上げの情勢で、業務量に見合う大幅賃上げ、人員増で住民サービスが維持できる労働条件とより良い職場環境めざすなど提起し全会一致で可決。最後に越智新委員長の「団結ガンバロー」で締め付けて閉会しました。

【伊予】定期大会で「誰もが輝く職場をめざす」方針を確認



伊予市職労は7月27日、定期大会を開催し23人（委任状128人）が参加し、すべての議案を滞りなく審議しました。県本部森賀委員長が来賓としてあいさつ。大会では、組合員の職場トラブルや労働災害に寄り添い、解決に向けて全力でサポートしていくこと、組合フレックシブルや組合員全体の交流機会の創出、時代に即した組合員本位の新しい労働組合への変革を提案し、賛成多数で承認を得ました。最後は「おなじみ」の久保執行委員長による「団結ガンバロー」で大会を締めくくりました。大会では、新執行体制のもと、運動方針で掲げた「組合加入幸福度」の向上を図る運営を進めます。

【宇和島】定期総会4年ぶり実開催 学習・交流など活発に活動を



宇和島市職は7月28日、定期総会を4年ぶりに実開催し19人が参加。河野委員長が「若い方にもっと組合に入ってもらえるよう、学習や交流会など、もっと組合活動を活発にしていきたい」とあいさつ。県本部森賀委員長が「23人勸情報、保育士配置基準改善をめざす活動」など報告しあいさつ。活動報告では「4月新採職員への声かけ活動や説明会を行い、新採2人が加入」「11月に秋季要求書を提出、有休枠での正規職員の一定数確保、保育の正規職員の処遇改善、保育職場の休憩時間・パソコン時間の確保、会計年度任用職員の勤勉手当など待遇改善」など、さまざまな労働条件の改善も盛り上がりました。

【南予総支部】定期総会で運営方針確認 懇親会で交流深める



南予総支部は8月2日、定期総会を開催し5単組13人が参加。柿原総支部長（西予市職労）が「西予市立病院等の民営化問題では活動へのご支援もいただき大変感謝している。本日の代表者会議においても、しっかりと交流し懇親を深めたい」とあいさつ。活動報告や収支

【青年部】コロナ禍入庁の青年職員ケアする 取り組みを。交流学習方針確認



県本部青年部は7月22日、定期大会を開催し6単組14人が参加。経過報告では「愛知青年部との交流会」「県自治研青年講座」「反核へんろ」などを報告。運動方針では坂東部長が「学習活動」「単組を超えた青年の交流」「交流企画ドッキョ

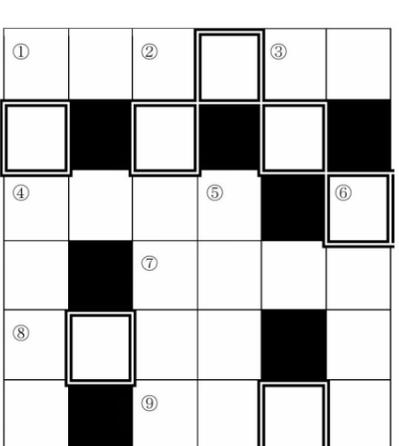
核兵器廃絶の願い世界にも届け



8月9日、千羽鶴を海外へ送るつどいが開催され17人が参加。このとりくみは1990年から今年で34年目。はじめに原爆や戦争の犠牲者に対し黙祷。今井平和行進愛媛実行委員長は「ロシアのウクライナ侵略後も核兵器禁止条約への批准国は着実に増えている。愛媛から海外へ核廃絶の思いをのせて折り鶴を届けよう」などあいさつ。愛媛の平和行進の特徴報告の後、「被爆者の体験を語る」として、広島で胎内被曝した松浦秀人さんが母の体験と世話をこえて体をむしばむ原爆の恐ろしさを語りました。今年

マス目を埋め、二重枠の7文字で、夜市などもするお店が集まっている地区のことにして下さい。

- 【ヨコのカギ】
- ① 太平洋にあったとされる伝説上の大陸
 - ④ 給料が支給されない。〇〇〇〇⇔有給
 - ⑦ 竹で編んだ垣根のこと。早口言葉にも登場
 - ⑧ 役に立つこと。〇〇〇〇⇔無用
 - ⑨ 地上に降る雨の量
- 【タテのカギ】
- ① (四字熟語) 何か心に奪われ、われを忘れること
 - ② (四字熟語) 種類が多く、さまざまであること
 - ③ 元素記号P原子番号15
 - ⑤ 他人から聞いた知識や話をそのまま違う人に話すこと
 - ⑥ (悪い意味で) いい加減。〇〇〇〇な返事



出題者 堀川孝行

■57号のバズルの答えは「コイハモウモク」(恋は盲目)でした。正解は13通でした。正解者のなかから5人の方に図書カードを進呈いたします。(敬称略)

- 黒川 夏実(新居浜)
藤井 隆嗣(新居浜)
武智 徹(東温)
貝崎美都志(松山)
藤田 圭亮(新居浜)

【応募方法】バズルの解答、氏名、住所、単組名を忘れずに。また、余白に紙面の感想、職場や家庭での出来事などをお書きください。正解者のなかから5人の方に図書カードを進呈いたします。

【送り先】自治労連愛媛県本部バズル係 〒790-0003 松山市三番町8丁目10-2 (FAX、メールも可) 1面題字下に記載

【締切り】9月27日【発表】561号(10月号)

おたより ありがとう

- うだるような暑さですが、人間ドックで良い結果が出るように昼休み走っています。(新居浜・藤田)
- 同僚に夏野菜をたくさんお裾分けしてもらいました。食卓のカラフルな野菜を見て暑い夏も楽しめる気がしています。(松山・貝崎)
- もともと暑がりなところへ年齢的に体温の調節がうまくできず、アイスのごほうびが何よりもうれしいです。今年の夏も暑そうですね。(新居浜・西原)
- 飲み会やイベントが復活しました！日々忙しいけど、人と関わり笑って、充実してるってウキウキしています！(新居浜・山本)
- 最近、弟に教えてもらい麻雀を覚えました。全然興味がなかったのですが、今では徹夜で麻雀をする人の気持ちがわかります(笑)。ACCのCMです(笑)。(新居浜・筒井)
- コロナ5類移行で組合活動も活発にできる様になりました。今年は賃上げや正規職員採用、子ども看護休暇の拡大など、要求していきたいです。(新居浜・鈴木)
- 職場内で、クロスワード仲間をじゃわ増やしたいです！(新居浜・筒井)